

平成29年度の局運営方針の外部評価について(案)

1 外部評価について

「戦略のアウトカムに対する有効性」の自己評価結果の妥当性を中心に、外部有識者の視点で評価するとともに、翌年度運営方針の策定に活かせるよう、課題のある項目に対し意見又は助言を行う。

2 外部評価の進め方

(1) 平成 28 年度からの変更点について

平成 27 年度までは局の運営方針に係る外部評価を毎年実施していたが、平成 28 年度からは 3 年周期で実施することとしており、当時に決定した対象所属の割り振りやダイアログ実施方法に基づき、外部評価を行うこととする。

・外部評価対象所属数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
内部管理分野（ダイアログの対象外）	3	3	3
内部管理分野以外（ダイアログの対象）	5	6※	6

※ 但し、外部評価の対象外の年度でも、外部評価を希望する局は、別途市政改革室へ申し出ることにより、外部評価を受けることができるものとする。

平成 29 年度については、教育委員会事務局が外部評価を希望しているため、外部評価対象所属数は 7 所属である。

・ダイアログ実施方法

	平成 27 年度	平成 28 年度から
戦略数	1 つ	1 つ又は 2 つ
ダイアログ実施時間	30 分	60 分
ダイアログ担当委員数	2 名	3 名

(2) 内部管理分野

対象所属の平成 28 年度運営方針自己評価結果及び平成 29 年度運営方針について、外部評価を行う。

対象所属	担当委員
総務局	奥谷委員
財政局	稲澤委員
契約管財局	山本委員

(3) 内部管理分野以外

①ダイアログの実施について

外部有識者の視点でアドバイスをいただくことにより、適切な運営方針の策定に繋げるため、委員3人1組で、各所属長とダイアログを実施する。

ダイアログについては、平成28年度運営方針自己評価結果及び平成29年度運営方針をもとに、1所属60分程度で行う。

所属が希望する戦略（1つ又は2つ）に対し、「適切な評価ができているか」、「適切にアウトカム等の目標設定ができていたか」など、所属が抱える問題点について、PDCAの観点で意見交換を行い、その後に外部評価を行う。

分野	日時	対象所属	担当委員
B-1	8月8日（火） 12時50分～17時40分	危機管理室、環境局、 都市整備局、消防局	小川委員 善積委員 和田委員
B-2	8月24日（木） 13時30分～17時10分	経済戦略局、中央卸売市場、 教育委員会事務局	稲澤委員 奥谷委員 山本委員

②具体的なダイアログ実施方法について

これまで、ダイアログ冒頭の際には、所属側の助言を求める趣旨などの説明を省いていたが、当該説明がないために、ダイアログ実施中に外部有識者委員と所属との間で、論点がずれる事例もあった。

そのため、今年度から「外部有識者に助言を求める戦略等について（別紙報告書）」*を所属が予め作成し、当該報告書をもとに、ダイアログ冒頭に所属が助言を求めるポイントなどの説明を行うこととする。

（※「外部有識者に助言を求める戦略等について（別紙報告書）」は次頁のとおり）

外部有識者に助言を求める戦略等について

所属名

①平成28年度運営方針 「めざす成果及び戦略」番号		①に関連する平成29年度運営方針 「めざす成果及び戦略」番号	
------------------------------	--	-----------------------------------	--

計 画	めざす状態 ＜概ね 3 ～ 5 年間で念頭に設定＞	
	アウトカム ＜めざす状態を数値化した指標＞	
	戦略 ＜中期的な取組の方向性＞	

自 己 評 価	戦略のアウトカムに対する有効性		戦略の進捗状況				
		アウトカムの達成状況		個別	全体	27年度	26年度
	アウトカム関係						

当該施策の重 要性に関する所 属認識		
助 言 を 求 め る ポ イ ン ト	概 要	
	経 過 ・ 現 状 ・ 課 題 な ど	
	連 備 考 ー （ 考 そ の 他 関 連 ）	

③現場視察の実施について

(ア) 目的

運営方針に記載されている施策レベルである戦略などを対象に、有識者会議委員と関係所属職員でダイアログを行うにあたり、当該戦略に即した事業に関連する現場の視察を行うことにより、取組内容や戦略内容に関して理解が深まり、より充実したダイアログとすることを目的とする。

(イ) 実施方法

(a) 視察場所について

ダイアログ対象戦略等に関連する現場については、所属自らが上記目的に即した現場を抽出することとした。なお、所属の都合上、現場視察に対応できない又は上記目的に即した現場が存しないと所属が判断した場合は、現場視察対象外とする。

(b) 視察件数について

現場視察に関しては、初めての試みであることなどを考慮し、視察を行う件数については、1分野ごとに最大1所属のみとする（計2所属）。

(c) 視察場所の選定方法について

ダイアログ対象戦略や視察場所などをもとに、本会議において、有識者会議委員が選定することとする。

分野	所属名	ダイアログ 対象戦略	視察（候補）場所	視察 （候補）日
B－1	危機管理室	1－2 【地域防災力の向上】	—	—
	環境局	1－1 【環境未来型の都市・産業構造への変革】 2－1 【さらなる3Rの推進】	—	—
	都市整備局	3－1 【市設建築物におけるファシリティマネジメントの推進】	—	—
	消防局	3－1 【救命の連鎖の強化】	大阪市消防局 ^{※1} (大阪市西区九条南1－12－54)	7/19, 7/20

B-2	経済戦略局	1-2 【経済へダイナミズムをもたらす 中小企業の成長・発展を促進するこ とによる経済成長の実現】	—	—
	中央卸売市場	1-1 【市場機能の強化と経営の効率化】	大阪市中央卸売市場 本場 ^{※2} (大阪市福島区野田 1-1-86)	7/7, 7/10, 7/11 (8 時～10 時 頃が望ましい)
	教育委員会事務局	1-1 【学力の向上】	—	—

※1 消防局での主な視察（予定）場所

- ・救急安心センターおおさか
看護師・相談員が医師の支援体制のもと、24 時間体制で市民からの救急医療
相談に対応するところ
- ・指令情報センター
市域からの 119 番通報や消防・救急活動に関する情報をもとに指令管制を行
うところ
- ・その他
高度な救急救命処置が行える救急隊の活動や救急車積載資器材などの説明を
行う

※2 中央卸売市場での主な視察（予定）場所

- ・青果や水産物等に係る流通の仕組みなどを理解いただく一助として、本場内に
ある卸売場や仲卸売場などを視察するとともに、「せり」の見学も予定している
(市場の活動内容を把握するためには、午前 8 時～10 時頃の視察が望ましい)

(ウ) 効果検証について

現場視察の実施後、当該視察の効果を検証し、次年度以降も継続して実施するかどうかの
検討を行うこととする。

◆参考（平成 30 年度の外部評価対象所属について）

	平成 30 年度（予定）
内部管理分野以外	・都市計画局 ・建設局 ・港湾局 ・交通局 ・水道局 （・ICT戦略室）
内部管理分野	・会計室 ・行政委員会事務局 ・副首都推進局